



谷口 雅浩 議員



一般質問 ズバリ！ ここが聞きたい

町のクマ対策について

村中町長

安全確保のため
今後も有効な方策について検討する

□質問・遠藤議員
現在、休館日や開館時間の見直しに向けた試験運用が行われていますが、町民の中には「これで図書館の役割が十分に果たせるのか」との声があります。今後どのような方向で図書館を整備・運営していくかお伺いします。

また、図書館の利用者数の伸び悩みが課題となっている現状がある中、全国では、会話や軽食、学習、交流など多目的に利用できる「にぎやかな図書館」が広がり、まちづくりの拠点として注目されています。

本町においても、図書館を地域交流や世代間のつながりを生む拠点として活用する考え方があるのか教育長の考え方を伺います。

□答弁・北川教育長
試験的運用を通して、町民の皆様からいただいたご意見や感想を十分考慮し、これからよりよい図書館運営に努めていきたいと考えています。

近年、「図書館は静かに本を読む場所」という常識が大きく変わりつつあり、「にぎやかな図書館」といった新しい形の図書館が生まれてきています。

図書館の本質は、「人が集い、考え方、行動を生み出す場」にあり、静けさと賑わいが共存する空間、誰もが自然に学び、語り合える環境であります。

□質問・谷口議員
環境省によると、今年度のクマ被害による死者数は全国で13人（11月5日時点）となり、統計を取り始めた2006年度以降で過去最悪の数字を記録しています。

クマが人里や市街地に降りてくる要因として、えさ不足が深刻化しています。

地域によっては、イベントの中止や保育園、小学校の送迎強化など生活や経渌活動に大きな影響が出ています。町内においてもクマの目撃により良佳村エリアの施設閉鎖が繰り返されています。

そうしたことから次の3点について町長に伺います。

(1)町内には、北4線から北1線（19区から15区）にかけて総延長1720mの電気柵が設置されています。これはシカが用水路への転落防止のものであり、クマ対策になつていません。そこで、人をクマから守る対策として良佳村エリアに電気柵を設置する考えはありますか。

(2)自治体によつては、公務員が獣害対策を担当するガバメントセンター（公務員ハンター）を置いています。狩猟だけでなく野生動物の行動、生態などの知識を身につけて地域の獣害対策を担う職員に

あります。

熊対策の電気柵は、侵入を防ぐことができる有効な方法であると理解しております。商工観光課においてもヒグマ出没への対策は検討をしていませんが、良佳村エリアのキャンプ場では幼児や児童の利用が多く、誤つて電気柵に触れる可能性もあるため、来場者への安全配慮や設置場所などにも課題があります。設置については困難であると考えます。

安全確保のため、今後も有効な方策について検討してまいります。

熊対策の電気柵は、侵入を防ぐこ

とができる有効な方法であると理解しております。商工観光課においてもヒグマ出没への対策は検討をしていませんが、良佳村エリアのキャンプ場では幼児や児童の利用が多く、誤つて電気柵に触れる可能性もあるため、来場者への安全配慮や設置場所などにも課題があります。設置については困難であると考えます。

安全確保のため、今後も有効な方策について検討してまいります。

熊対策の電気柵は、侵入を防ぐこ